

■国営昭和記念公園

■住所：東京都 立川市 緑町 3173

無料区・花みどり文化センター

■施設概要：国営昭和記念公園は、「現在及び将来を担う国民が自然的環境の中で健全な心身を育み、英知を養う場とする」ため、「緑の回復と人間性の向上」をテーマとしています。総面積は約 180ha です。現在一般開園されている約 95%の 169.4ha には、無料区と有料区があり、生物多様性豊かな広い緑地の保全及び利活用と市民ボランティアとの協働など文化的な活動を行っています。



■発注者：昭和記念公園パークス共同体国営昭和記念公園管理センター・指定管理者

■受託年：令和2年4月～ ■休館日：1月第3月曜日から金曜日、12/31～1/1

■職員人数：1名

●主な業務内容

- ネイチャープログラム（一般家族向け）の提供
- 展示物（パネル、ハンズオン）の保守

●業務経歴

- 平成30年度に委託されていたプログラム開発に関する業務に引き続き、令和2年からは「国営昭和記念公園環境学習プログラム運営補助業務」を受託している。
- フィールドならではの特徴や旬を紹介するための各種調査を基に、展示パネル23種、ハンズオン展示9種、セルフガイド57種、フィールド解説板29種を制作し施設やHPで提供している。
- 有料区の「花木園展示室」で展開する有料プログラムでは、クラフト系2種、観察系1種のプログラムを準備し、対象は幼稚園（保育園）から高校生・大人まで幅広くカバーし、特に小学生に対応したメニューに力を入れている。



「鳥の形のバードコールづくり」（1月17日実施）の様子
例年実施しているプログラムだが、今年度は広報文にバードコールを作った後に解説員と一緒に野鳥観察を実施という文言を加えたところ、これまでは平均3作品ほどだったところ17作品に増加した。過去のアンケートを参考にほかのプログラムでも参加の動機付けとなるような広報文を作成し参加者数を増やしていきたい。

●業務実績：令和7年度

- 環境学習プログラムの実施は6月、10月、1月の各月1回（計3回）の実施となった。参加人数は累計48名。昨年度好評だった「アメリカザリガニを知ろう」を今年度も実施した。参加者の多くはザリガニを捕獲することを主目的に参加していたが、園内にアメリカザリガニが生息することによる影響や、本来生息していない環境に生きものを放出することの問題を子どもでもわかるような内容で伝えることで参加後の行動変容につながるように努めた。
- 各種調査を基に、旬の園内の生きものを解説する展示パネル、ハンズオン展示を「花みどり文化センター」に設置した。



花みどり文化センターに設置した展示パネルとハンズオン
令和2年～4年度に作成した展示物を旬にあわせて、定期的に更新を行った。来年度からは花木園展示棟で展示を行う。